

令和4年度 リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰 推薦要領

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会では、毎年、継続的な活動を通じて3Rに取り組み、資源の有効利用、環境への負荷の低減に顕著な実績を挙げている個人・グループ・学校・事業所・地方公共団体等を表彰する「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」を実施しております。

このたび令和4年度の募集を開始いたしますので、多数ご推薦くださいますようお願い申し上げます。

この表彰は、資源の循環利用に貢献する活動を推薦募集対象にしています。3Rという言葉で最初に思い出されるのは、モノを使用した後に適切な形でリユース・リサイクルをすることと思いますが、実際には原材料の投入の段階から製品が使用済みになった後の最終処分に至るまでの過程において、モノの削減、再使用・再生利用など様々な活動が行われています。

これらの活動の中には、3Rと区別してRepair（リペア、製品などを修理しながら長く使うこと）、Refuse（リフューズ、包装や袋などで不要なものを受け取らない）などの言葉で表現されるものもありますが、いずれも資源循環の活動の一部であり、すべてこの表彰の推薦募集対象です。

また、3Rとカーボンニュートラル、3RとLCA（ライフサイクルアセスメント）、3Rと地域振興など、3Rを実践しながら他の課題を同時解決するような活動もこの表彰の推薦募集対象です。

<対象となる取組>

- ・自らが3Rを実践する活動であり他の模範となる取組
- ・他者・地域との3Rを推進するための連携、他者への3Rの啓発・教育活動など他の模範となる取組
- ・3Rを推進するための仕組みづくり、3Rを促進する製品の開発・普及などの活動

※ 推薦にあたっては「審査基準」（6ページ）の評価項目をご考慮ください。

※ リデュース、リユース、リサイクルのいずれか1つの取組も対象です。

また、これらの2つの組み合わせ、3つ全ての取組も対象です。

※ 他と比較して優れたところ、進んだところ、独自なところがあれば、既に比較的普及している3Rの取組であっても対象です。

- 推薦機関からの推薦締め切り
2022年4月18日（月）（事務局に必着）
- 推薦締め切り後のスケジュール
審査結果通知（推薦機関宛）： 2022年9月下旬 予定
表彰式： 2022年10月下旬、東京 予定

- ご提出先及びお問い合わせ先
リデュース・リユース・リサイクル推進協議会事務局 表彰推薦受付係
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町二丁目2番1号
三井住友銀行神田駅前ビル 一般社団法人産業環境管理協会内
電話： 03-5209-7704 FAX： 03-5209-7717

主催 リデュース・リユース・リサイクル推進協議会

<目 次>

表彰制度の概要、応募方法等	1
推薦一覧 様式	7
推薦書 様式	9
候補者の概要書 様式 1 (個人・グループ・学校用)	11
候補者の概要書 様式 2 (事業所・地方公共団体等用)	19
<参考1>表彰の募集対象となるリデュース・リユース・リサイクル (3R) の取組の例	26
<参考2>過去に受賞した取組の紹介	28

表彰制度の概要、応募方法等

1. 目的

リデュース（発生抑制）・リユース（再使用）・リサイクル（再資源化）（以下「3R」といいます）に率先して取り組み、継続的な活動を通じて顕著な実績を挙げている者を表彰することによりこれらの活動を奨励し、もって循環型社会の形成推進を図ることを目的としています。

2. 主催

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会

3. 後援

後日、協議会ホームページにて掲載

4. 募集対象

循環型社会の形成に向け、廃棄物等の3Rに率先して取り組み、資源の有効利用、環境への負荷の低減に継続的な活動を通じて顕著な実績を挙げている「個人・グループ・学校」及び「事業所・地方公共団体等」（以下「候補者」といいます）。なお、次のような活動が対象です（具体例は、26～27ページの「表彰の募集対象となる3Rの取組の例」を参考にしてください）。

- ・自らが3Rを実践する活動であり他の模範となる取組
- ・他者・地域との3Rを推進するための連携、他者への3Rの啓発・教育活動など他の模範となる取組
- ・3Rを推進するための仕組みづくり、3Rを促進する製品の開発・普及などの活動

※ 推薦にあたっては「審査基準」（6ページ）の評価項目をご考慮ください。

（対象者）

- 「個人・グループ・学校」： 個人、自治会、ボランティア、学校 等
- 「事業所・地方公共団体等」： 企業、工場、都道府県、市町村 等

※学校と企業の連名などの場合、どちらがより主体的に活動を行っているかによって「候補者の概要書」の様式を選んでください。不明な場合は、事務局（表彰推薦受付係）までご連絡ください。

5. 賞の種類

後日、協議会ホームページにて掲載

6. 募集方法

本表彰では、以下の①～③の推薦機関からの推薦により「4. 募集対象」に定める候補者を募集します。候補者が直接当協議会に自薦応募することはできません。

- ①リデュース・リユース・リサイクル推進協議会の会員団体
- ②地方自治体（都道府県、政令指定都市、中核市、特別区） ※2022年1月基準
- ③建設副産物対策地方連絡協議会

7. 応募の方法

(1) 提出書類

推薦機関は、この推薦要領に定める様式により、以下の書類を提出してください。

- ①推薦一覧（推薦案件全体に対して1通作成）
- ②推薦書（候補者1件につき1通ずつ作成）
- ③候補者の概要書（候補者に作成を依頼し、内容を確認）

併せて、活動の様子がわかる写真、参考資料（パンフレット等）があれば、③に添付してください。提出書類の様式、提出部数等は下表をご参照ください。

この推薦要領（Microsoft Word 形式）はリデュース・リユース・リサイクル推進協議会のホームページからダウンロードできますのでご利用ください。（<https://www.3r-suishinkyogikai.jp/commend/commend/>）

提出書類		書類の作成者	記入様式	提出部数
①推薦一覧（推薦案件全体に対して1通作成してください。）		推薦機関	7ページ	・紙媒体1部 ・電子媒体1部
②推薦書（1件の候補につき1通ずつ作成し、「③候補者の概要書」を添付してください。）*			9～10ページ	
③候補者の概要書（添付資料を含む）	個人・グループ・学校用【様式1】	候補者	11～17ページ	・紙媒体2部（正・副） ・電子媒体1部
	事業所・地方公共団体等用【様式2】		19～25ページ	

* 推薦機関から特に申し伝えたい事項（推薦理由等）がある場合には推薦書に記述ください。

* 上記書類を、紙媒体で「①+候補者分の（②+③の組み合わせを正、副）」及び電子媒体で「①+候補者分の（②+③の組み合わせ）」にて提出してください（提出方法及び提出先は、下記（3）、（4）を参照）。

<提出にあたって>

- ・「③候補者の概要書」は、活動内容の写真（画像データ）や図表等を添付してください。
また、活動内容に関する参考資料（パンフレット等）があれば、紙媒体2部及び電子ファイル1部を提出してください。
- ・提出書類はホッチキス留めにせず、クリップで留めてください。
- ・①～③の書類の電子媒体（Microsoft Word ファイル）は、押印なしのまま提出してください。電子媒体は候補者一覧データの入力、表彰結果発表冊子の原稿作成を行う際に、文字のコピーなどに使用します。印刷したものをスキャナーで読み込んでPDFなどに変換したものは文字のコピーなどが出来ないため、記入したMicrosoft Word ファイルをそのまま提出してください。
- ・書き方が不明な場合、事務局（表彰推薦受付係）までご連絡ください。

(2) 推薦機関からの提出期限

2022年4月18日（月）（必着）

(3) ご提出方法

郵送又は持参で提出してください。

ただし、電子媒体の提出は、Eメール（全体で5MB以内）やファイル転送サービスなどでも可です。

(4) ご提出先

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町二丁目2番1号 三井住友銀行神田駅前ビル

一般社団法人産業環境管理協会内

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会事務局 表彰推薦受付係

Eメールアドレス：3r-comm@3r-suishinkyogikai.jp

8. 推薦にあたっての注意事項

①推薦書（印刷物2部）は必ず推薦機関の代表者（協議会会員団体の長、都道府県知事、政令指定都市市長、中核市市長、特別区区長、建設副産物対策地方連絡協議会会長）名で作成し、代表者印を押印（電子押印も可）のうえ提出してください（電子媒体は、押印なしのまま提出してください）。

②必ず事前に候補者の承諾を得ておいてください。

③推薦機関は、「候補者に法令違反の事実はない」「反社会的勢力では無い」「その他受賞者として相応しくない事項は無い」ことを確認のうえ推薦してください（推薦書のチェック項目をご活用ください）。

なお、チェック項目が全てクリアされている候補者であっても、審査において受賞者として不適当と判断されることがあります。

④過去に受賞した候補者を同じ取組内容で繰り返し推薦することはご遠慮ください。過去受賞時とは別の取組であれば推薦可能です。過去に受賞した企業の別の事業所や工場での活動、あるいは過去に受賞した建設会社や共同企業体が行う別の工事等は別の取組と見なします。

⑤過去受賞時の延長線上にある取組であっても、その後の拡大・発展が著しく上位賞の候補になると判断した場合は推薦可能です。その場合は、過去受賞時から拡大・発展したポイントについて、候補者の概要書の「過去の受賞歴及び他の表彰制度への応募状況」欄に記入してください。

⑥同じ取組内容で過去5年間に他の表彰制度にて受賞した場合又は他の表彰制度に推薦されている若しくは応募中の場合、同じく「過去の受賞歴及び他の表彰制度への応募状況」欄に記入してください。

⑦推薦機関は審査結果等については責任を負わないものとします。

9. 審査

有識者等からなる「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰審査委員会」を設置し、「審査基準」（6ページ）に基づき、応募案件の審査を行います。

10. 結果の通知

推薦機関に審査結果（入賞内定または選外）通知（9月下旬予定）を送付した後、入賞内定者には内定通知（推薦機関へ通知した1週間～10日後）を送付します。選外については特に通知いたしません。

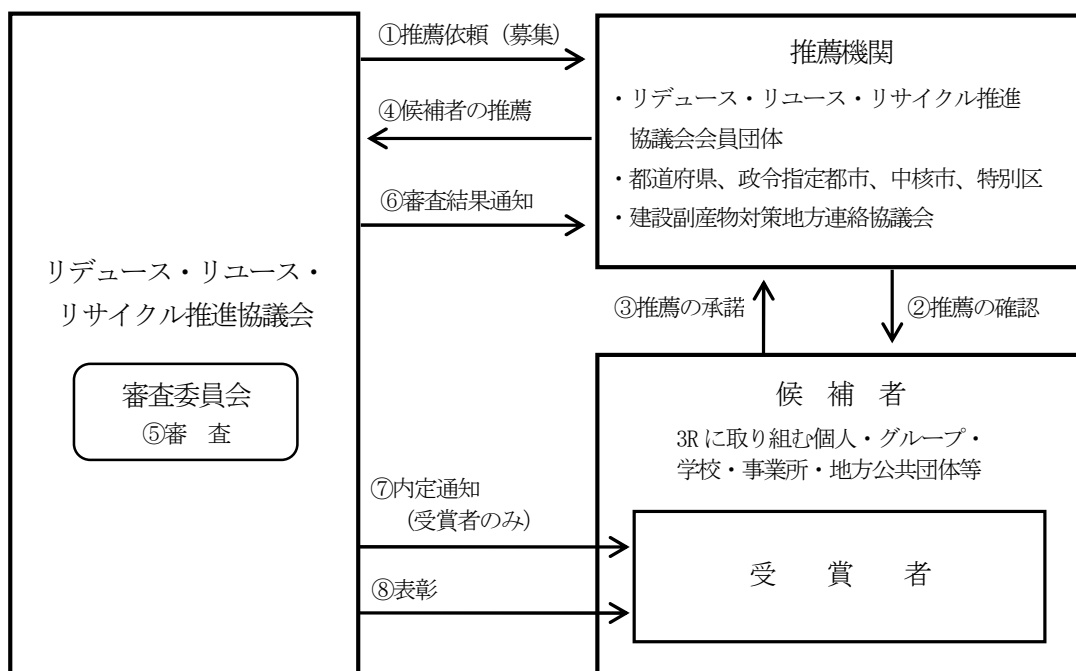
11. 表彰式

2022年10月下旬 東京都内で挙行予定

12. 個人情報の取り扱いについて

推薦書、候補の概要書等に記入された個人情報は、本表彰の実施に関連する用途以外には使用しません。

13. 募集から表彰までの流れ



[募集から表彰までの流れ]

令和4年度
リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰
審査委員会委員名簿（予定）

（敬称略）

氏名	所属機関
木村文彦	東京大学名誉教授
石井照之	日本商工会議所 産業政策第二部 課長
角田禮子	主婦連合会 常任幹事
小澤紀美子	東京学芸大学名誉教授
斎藤正一	日経BP社 日経ESG経営フォーラム事務局長
根村玲子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 環境委員会 副委員長
細田衛士	中部大学 副学長、経営情報学部長・教授
田村公一	国 税 庁 長官官房審議官
藤原章夫	文部科学省 総合教育政策局長
大坪寛子	厚生労働省 大臣官房審議官
安楽岡 武	農林水産省 大臣官房審議官
奈須野 太	経済産業省 産業技術環境局長
和田信貴	国土交通省 総合政策局長
室石泰弘	環 境 省 環境再生・資源循環局長

審査基準

○個人・グループ・学校

評価項目	具体的な評価事項
継続期間	主体の特性に応じて活動の継続性を評価する。
対象品目・量等の実績、活動の効果	活動対象品目の範囲・3R対象量等の活動実績及び活動により得られた効果（廃棄物の削減効果、省資源・省エネ効果、環境保全効果等）を評価する。
地域性	活動範囲（実施主体の特性や活動内容を勘案しつつ、活動範囲の広さを評価する。） 他主体・他地域との連携（他の3R活動主体や他地域との連携について評価する。） 地域密着性（地域の特性や廃棄物問題を踏まえた活動であるかを評価する。）
活動頻度	活動頻度を評価する。
独創性・先鞭性	当該主体で考案された独自の活動か、先進的に取り組んだ活動かを評価する。
波及効果、啓発・教育効果	他者の3R活動に与えた効果を評価する。また、機関誌の発行、講演会・研修会の開催等による啓発・教育活動を行っている場合は、その効果を評価する。
その他評価	リデュース・リユース・リサイクルの各分野にわたる活動、上記評価項目や点数配分では評価しきれない優れた項目、内容等があれば、加点する。

○事業所・地方公共団体等

評価項目	具体的な評価事項
継続期間	主体の特性に応じて活動の継続性を評価する。
対象品目・量等の実績、活動の効果	活動対象品目の範囲・3R対象量等の活動実績及び活動により得られた効果（廃棄物の削減効果、省資源・省エネ効果、環境保全効果等）を評価する。
地域性	活動範囲（実施主体の特性や活動内容を勘案しつつ、活動範囲の広さを評価する。） 他主体・他地域との連携（他の3R活動主体や他地域との連携について評価する。） 地域密着性（地域の特性や廃棄物問題を踏まえた活動であるかを評価する。）
独創性・先鞭性	独創性・先鞭性（製品、サービス、技術、社会システム等の開発を含む）を評価する。
波及効果、啓発・教育効果	他者の3R活動に与えた効果を評価する。また、機関誌の発行、講演会・研修会の開催等による啓発・教育活動を行っている場合は、その効果を評価する。
その他評価	リデュース・リユース・リサイクルの各分野にわたる活動、上記評価項目や点数配分では評価しきれない優れた項目、内容等があれば、加点する。

(推薦機関が作成)

令和4年度
リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰
推 薦 一 覧

2022年 月 日

推薦機関名： _____

No ^{*1}	候補者名 (連名による候補の場合は、同じマスに名前を列記してください。)	連名 ^{*2}	概要書の 様式 ^{*3}
1			<input type="checkbox"/> 様式1 <input type="checkbox"/> 様式2
2			<input type="checkbox"/> 様式1 <input type="checkbox"/> 様式2
3			<input type="checkbox"/> 様式1 <input type="checkbox"/> 様式2
4			<input type="checkbox"/> 様式1 <input type="checkbox"/> 様式2
5			<input type="checkbox"/> 様式1 <input type="checkbox"/> 様式2
6			<input type="checkbox"/> 様式1 <input type="checkbox"/> 様式2
7			<input type="checkbox"/> 様式1 <input type="checkbox"/> 様式2
8			<input type="checkbox"/> 様式1 <input type="checkbox"/> 様式2
9			<input type="checkbox"/> 様式1 <input type="checkbox"/> 様式2
10			<input type="checkbox"/> 様式1 <input type="checkbox"/> 様式2

- *1 11件以上の推薦がある場合、一覧を適宜追加し、番号は連番(11～)にて採番してください。
番号を追加した結果、推薦一覧が複数ページになっても問題ありません。
- *2 連名候補者を推薦する場合には、連名数を記入ください(2者連名であれば「2」)。
単独候補者を推薦する場合には、空白のままにしてください。
- *3 推薦する「候補者の概要書」の該当する様式の□欄にチェックマーク(✓)を付けてください。
(「様式1(個人・グループ・学校)」又は「様式2(事業所・地方公共団体等)」のいずれかを☑にする。)

推薦件数が1件の場合も、この一覧をご提出ください。

令和4年度
リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰
推 薦 書

2022年 月 日

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会 御中

(推薦機関名)

(代表者役職・氏名)

印

リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰の候補として下記の者を推薦します。

記

1. 候補者名 (連名による候補の場合は、行を分けて名前を列記してください。)

	(推薦一覧のNo:)
--	-------------

2. 推薦機関における候補の選定方法 (例: 担当部署又は審査会設置による選定等)

[]

3. 取組内容の確認方法 (例: 現地調査又は候補者、関係者等のヒアリング等)

[]

4. 上記候補者の他の3R関係の表彰への推薦状況

貴機関において、上記候補者を令和4年度に他の3R関係の表彰に推薦している又は推薦を予定している場合には、その表彰について記入してください。

①他の3R関係の表彰への推薦の既済又は予定について、該当するほうに○をしてください。 ある ・ ない	
② (①にて「ある」に○を付けた場合のみ) 下に当該表彰名を記入ください。 枠が足りない場合は、適宜追加してください。	
推薦状況 (該当するほうに○)	表彰名
既済 ・ 予定	
既済 ・ 予定	
既済 ・ 予定	

※次ページに続きます

5. 候補者に関する確認

上記候補者の推薦に当たり、以下の事項を確認し、該当する場合は□欄にチェックマーク(✓)を付けてください。

<推薦について>

○ 候補者に事前の承諾を得ている・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・□

<コンプライアンス等に関して>

○ 候補者に法令違反の事実はない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・□

○ 反社会的勢力では無い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・□

○ その他受賞者として相応しくない事項はない・・・・・・・・・・・・□

注) これらの項目が全てクリアされている候補者であっても、審査において受賞者として不適当と判断されることがあります。

6. 推薦理由

上記候補者について、推薦機関から見て特筆すべき活動の優れた点、または候補者の概要書を補足する内容等をご記入ください（自由形式、スペースが足りない場合には、枠を適宜拡大してください）。

7. 当推薦についての推薦機関の連絡先等

推薦機関名		
住所		(〒 -)
連絡先*	所属部署	
	氏名	
	電話番号	
	FAX番号	
	Eメール	

* 「連絡先」は、この推薦の件に関する連絡・問合せ等の窓口となる担当者をご記入してください。

候補者の概要書 (個人・グループ・学校用)

1. 候補者の名称、連絡先等

①候補者名 ^{*1} (個人・グループ・学校の名称) *1 表彰状はこの欄に記入された名称により作成しますので、正確にご記入ください。名称は、なるべく 30 字以内にしてください。	フリガナ (半角カナ) : -----
②取組の実践場所 (都道府県及び市区町村まで記入)	
③代表者役職・氏名	
④連絡先 (連絡・問合せ等に対応できる担当者 を記入してください。)	住所 (〒 -)
	所属機関等の名称
	部署・役職
	氏名
	電話番号
	F A X 番号
	Eメール

連名による応募の場合、もう 1 者の名称・連絡先等を記入してください。3 者以上の連名の場合は、記入欄を適宜追加して、記入ください。

①候補者名 ^{*1} (個人・グループ・学校の名称) *1 表彰状はこの欄に記入された名称により作成しますので、正確にご記入ください。名称は、なるべく 30 字以内にしてください。	フリガナ (半角カナ) : -----
②取組の実践場所 (都道府県及び市区町村まで記入)	
③代表者役職・氏名	
④連絡先 (連絡・問合せ等に対応できる担当者 を記入してください。)	住所 (〒 -)
	所属団体等の名称
	部署・役職
	氏名
	電話番号
	F A X 番号
	Eメール

2. 3R 活動の実施内容（推薦対象の 3R 活動の内容について記入してください。）

※欄内の説明文（コメント）、記入例は削除し、ご記入ください。

① 活動テーマ名
推薦対象の 3R 活動の内容を端的に表す活動テーマ名を 40 字以内で付けてください。
② 活動概要（表彰結果発表冊子に使用します。非公開の情報は「③活動の詳細内容」にご記入ください。）
活動内容を、写真、図表なども含めて、当枠内に記入してください（MS 明朝、9 ポイント）。 ※ 枠を上げたり、次ページに繰り越したりしないようにお願いします。
次のような項目について内容を記述ください（一例なので、このとおりでなくても問題ありません）。
（1）どのような 3R 活動か
（2）取組のポイント、特長
（3）他の取組に比較して優れているところ、独自なところ、工夫したところ
（4）今後の予定
など
注釈
1. 写真、図表等を活用して、取組の特長などが伝わるようにご記入ください。
2. 当欄の記入内容は、受賞取組をまとめた表彰結果発表冊子に使用いたします。非公開の情報など一般公開できない内容がある場合には、当欄ではなく次ページ「3. 活動の詳細内容（審査用）」にご記入ください。
3. 過去の内閣総理大臣賞受賞者の活動概要（表彰結果発表冊子）を 29 ページに添付していますので、ご参照ください。また、それ以外の受賞者の活動概要もリデュース・リユース・リサイクル推進協議会ホームページからダウンロードできますので、ご記入の際の参考にしてください。 (https://www.3r-suishinkyogikai.jp/commend/jisseki/)

※枠はこのまま使用して、上げたり、次ページに繰り越したりしないようにお願いします。

以下の各項目は、全項目が審査対象（未記入の場合は、当該欄の評価点がゼロ）となりますので、必ず全項目③～⑪ご記入ください（6 ページ「審査基準」ご参照）。

（③以降の記入欄の大きさが足りない場合は、枠を適宜広げてご記入ください。）

③ 活動の詳細内容（審査用。非公開）

3R 活動の具体的な実施内容について、写真・図表等を用いてご記入ください。
また、実施内容が優れている点を、期間、量、件数など客観的な数値を用いてご記入ください。

ご記入内容は次のような内容です。

- （1）どのような 3R 活動であるかの詳細
- （2）取組のポイント、特長の詳細
- （3）他の取組に比較して優れているところ、独自なところ、工夫したところの詳細
- （4）今後の予定の詳細

など

④ 活動開始時期・継続年数

3R活動を開始した年月及び継続年数を記入してください。

⑤ 対象品目・量等の実績

3R活動の対象品目、および過去3年間にリデュース、リユースまたはリサイクルした量の実績を記入してください（重量、体積、数量の単位は適宜変えてください）。なお、リサイクルの場合は、再生品の名称や用途（例：再生紙等）を記入してください。

<リデュース>

品目 \ 年度	年度	年度	年度
	t m ³	t m ³	t m ³
	t m ³	t m ³	t m ³
(説明・ポイント・補足など記入してください。)			

<リユース>

品目 \ 年度	年度	年度	年度
	t m ³	t m ³	t m ³
	t m ³	t m ³	t m ³
(説明・ポイント・補足など記入してください。)			

<リサイクル>

品目 \ 年度	年度	年度	年度
	t m ³	t m ³	t m ³
	t m ³	t m ³	t m ³
(説明・ポイント・補足など記入してください。)			

⑥ 活動の効果
<p>3R 活動の実施により得られた効果をできるだけ具体的に記入してください。</p> <p>「⑤ 対象品目・量等の実績」の付帯効果、波及効果、書ききれない効果、また「⑤ 対象品目・量等の実績」に記入したもの以外の内容があれば、記入してください。</p> <p>【廃棄物の削減効果】</p> <p>【省資源・省エネルギー効果】</p> <p>【環境保全効果】</p> <p>【その他の効果】</p>
⑦ 活動地域の範囲、他の 3R 活動主体や他地域との連携協力、地域密着性
<p>3R 活動の実施地域の範囲を記入してください。</p> <p>他の 3R 活動主体や他地域との連携・協力について具体的に記入してください。</p> <p>地域の特性や廃棄物問題を踏まえた 3R 活動である場合には、その内容を具体的に記入してください。</p>
⑧ 活動の頻度
<p>3R 活動の実施頻度を記入してください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(記入例) びんの回収：週 1 回、古紙の回収：毎日、フリーマーケット開催：月 1 回等</p> </div>

⑨ 独創性・先鞭性

他の取組に比較して優れているところ、進んでいるところ、独自なところを記入してください。

⑩ 啓発普及・教育活動の実施、波及効果

3Rに関する啓発・教育活動の実施内容と成果を具体的に記入してください。

他のグループ・学校等の3R活動に与えた波及効果を具体的に記入してください。

⑪ その他活動の工夫点

上記以外に特に工夫・努力している点、アピールしたい点等を記入してください。

3. 過去の受賞歴及び他の表彰制度への応募状況

今回推薦される内容が、下記(A)～(D)に該当する場合、以下の表にご記入ください。

- (A) 過去に、本表彰制度で今回推薦される内容と関連した活動で受賞
- (B) 過去に、本表彰制度で今回推薦される内容とは違うテーマの活動で受賞
- (C) 過去5年間に、他の表彰制度で今回推薦される内容と関連した活動で受賞
- (D) 本年度、他の表彰制度で今回推薦される内容と関連した活動で推薦されている又は応募中（予定も含む）

受賞歴及び 応募状況 (上記(A) ～(D)を 記入)	表彰制度名 (上記(C)、(D)の場合、 記入)	受賞年度 (上記(A)～ (C)の場合、 記入)	受賞した賞の種類 (上記(A)～(C)の場合、 記入)	受賞時のグループ名・学校 名が現在と異なる場合、 当時の名称 (上記(A)～(C)で該当する 場合、記入)

上記で (A)、(C)に○を付けた方は、前回受賞時から進展したポイント（例：活動内容の広がり、活動レベルの向上、3R 実績量の増加、活動地域の拡大等）について、下記の例を参考に具体的にご記入ください。

記入例は削除して、ご記入ください。

	過去（ 年度）受賞時の活動内容	今回推薦を受ける活動内容
3R 活動の内容 (拡大発展した ポイントが分か るように対比)	(記入例) ・資源ごみの集団回収活動 ・生ごみの堆肥化	(記入例) 左記の活動に加え、〇〇年から家具・日用品等の修理・不用品交換の事務局活動を開始、リサイクルのみならずリユースにも取り組むようになった。また、資源回収の対象品目も増え、活動の参加者やリサイクル量実績も格段に進展した。
3R 対象品目 について	(記入例) ・集団回収： 古紙、ガラスびん、アルミ缶 ・堆肥化： 生ごみ	(記入例) ・集団回収： 古紙、ガラスびん、アルミ缶、PET ボトル ・堆肥化： 生ごみ ・不用品交換： 家具・衣類・日用品・図書等
3R の実績量 について	(記入例) ・古紙回収量： 500kg/年 ・ガラスびん回収量： 1,200 本/年 ・アルミ缶回収量： 200kg/年 ・生ごみ処理量： 150kg/年 (堆肥生産量： 40kg/年)	(記入例) ・古紙回収量： 1,200kg/年 ・ガラスびん回収量： 2,500 本/年 ・アルミ缶回収量： 800kg/年 ・生ごみ処理量： 500kg/年 (堆肥生産量： 200kg/年) ・不用品交換の成立実績： 120 件/年
活動の実施地域 について	(記入例) 〇〇町内で実施	(記入例) 〇〇町に加え、隣接する××町、△△町に活動範囲を拡大
活動の参加者数 について	(記入例) 〇〇町内の 25 世帯が活動に参加	(記入例) 〇〇町 50 世帯、××町 15 世帯、△△町 20 世帯が活動に参加するようになった。
活動の質的な 向上について	(記入例) 生ごみ堆肥は、グループメンバーが自宅の庭や家庭菜園で使用	(記入例) 左記に加え、地元農家に協力を求め、野菜栽培に生ごみ堆肥を使ってもらった。
上記以外の進展 事項、アピールし たいポイント	(記入例) 他の 3R 活動グループとの情報交流を通じて活動のレベルアップを図るために、〇〇年にホームページとインターネット掲示板を開設した (アドレス https://〇〇〇〇.jp)。	

候補者の概要書 (事業所・地方公共団体等用)

1. 候補者の名称、連絡先等

①候補者名 ^{*1} (事業所・地方公共団体等の名称) ^{*1} 表彰状はこの欄に記入された名称により作成しますので、正確にご記入ください。名称は、なるべく30字以内にしてください。	カカナ (半角カナ) : <hr style="border-top: 1px dashed black;"/>
②取組の実践場所 (都道府県及び市区町村まで記入)	
③代表者役職・氏名	
④連絡先 (連絡・問合せ等に対応できる担当者を記入してください。)	住所 (〒 -)
	所属企業・機関名
	部署・役職
	氏名
	電話番号
	FAX番号
	Eメール

連名による応募の場合、もう1者の名称・連絡先等を記入してください。3者以上の連名の場合は、記入欄を適宜追加して、記入ください。

①候補者名 ^{*1} (事業所・地方公共団体等の名称) ^{*1} 表彰状はこの欄に記入された名称により作成しますので、正確にご記入ください。名称は、なるべく30字以内にしてください。	カカナ (半角カナ) : <hr style="border-top: 1px dashed black;"/>
②取組の実践場所 (都道府県及び市区町村まで記入)	
③代表者役職・氏名	
④連絡先 (連絡・問合せ等に対応できる担当者を記入してください。)	住所 (〒 -)
	所属企業・機関名
	部署・役職
	氏名
	電話番号
	FAX番号
	Eメール

2. 3R 活動の実施内容（推薦対象の 3R 活動の内容について記入してください。）

※欄内の説明文（コメント）、記入例は削除し、ご記入ください。

① 活動テーマ名
推薦対象の 3R 活動の内容を端的に表すテーマ名を 40 字以内で付けてください。
② 活動概要（表彰結果発表冊子に使用します。非公開の情報は「③活動の詳細内容」にご記入ください。）
活動内容を、写真、図表なども含めて、当枠内に記入してください（MS 明朝、9 ポイント）。 ※ 枠を上げたり、次ページに繰り越したりしないようにお願いします。
次のような項目について内容を記述ください（一例なので、このとおりでなくても問題ありません）。
（1）どのような 3R 活動か
（2）取組のポイント、特長
（3）他の取組に比較して優れているところ、独自なところ、工夫したところ
（4）今後の予定
など
注釈
1. 写真、図表等を活用して、取組の特長などが伝わるようにご記入ください。
2. 当欄の記入内容は、受賞取組をまとめた表彰結果発表冊子に使用いたします。非公開の情報など一般公開できない内容がある場合には、当欄ではなく次ページ「3. 活動の詳細内容（審査用）」にご記入ください。
3. 過去の内閣総理大臣賞受賞者の活動概要（表彰結果発表冊子）を 29 ページに添付していますので、ご参照ください。また、それ以外の受賞者の活動概要もリデュース・リユース・リサイクル推進協議会ホームページからダウンロードできますので、ご記入の際の参考にしてください。 (https://www.3r-suishinkyogikai.jp/commend/jisseki/)

※枠はこのまま使用して、上げたり、次ページに繰り越したりしないようにお願いします。

以下の各項目は、全項目が審査対象（未記入の場合は、当該欄の評価点がゼロ）となりますので、必ず全項目③～⑪ご記入ください（6 ページ「審査基準」ご参照）。

（③以降の記入欄の大きさが足りない場合は、枠を適宜広げてご記入ください。）

③ 活動の詳細内容（審査用。非公開）

3R 活動の具体的な実施内容について、写真・図表等を用いてご記入ください。
また、実施内容が優れている点を、期間、量、件数など客観的な数値を用いてご記入ください。

ご記入内容は次のような内容です。

- （1）どのような 3R 活動であるかの詳細
- （2）取組のポイント、特長の詳細
- （3）他の取組に比較して優れているところ、独自なところ、工夫したところの詳細
- （4）今後の予定の詳細

など

④ 活動開始時期・継続年数

3R 活動を開始した年月及び継続年数を記入してください。

⑤ 対象品目・量等の実績

3R 活動の対象品目、および過去3年間にリデュース、リユースまたはリサイクルした量の実績を記入してください（重量、体積、数量の単位は適宜変えてください）。なお、リサイクルの場合は、再生品の名称や用途（例：再生プラスチック、バイオマス、再生紙、ガス化燃料、セメント原料、高炉還元材利用等）を記入してください。

<リデュース>

年度 品目	年度	年度	年度
	t m ³	t m ³	t m ³
	t m ³	t m ³	t m ³
(説明・ポイント・補足など記入してください。)			

<リユース>

年度 品目	年度	年度	年度
	t m ³	t m ³	t m ³
	t m ³	t m ³	t m ³
(説明・ポイント・補足など記入してください。)			

<リサイクル>

年度 品目	年度	年度	年度
	t m ³	t m ³	t m ³
	t m ³	t m ³	t m ³
(説明・ポイント・補足など記入してください。)			

⑥ 活動による効果
<p>3R 活動の実施により得られた効果をできるだけ具体的に記入してください。</p> <p>「⑤ 対象品目・量等の実績」の付帯効果、波及効果、書ききれない効果、また「⑤ 対象品目・量等の実績」に記入したもの以外の内容があれば、記入してください。</p> <p>【廃棄物の削減効果】</p> <p>【省資源・省エネルギー効果】</p> <p>【環境保全効果】</p> <p>【その他の効果】</p>
⑦ 活動地域の範囲、他の 3R 活動主体や他地域との連携協力、地域密着性
<p>3R 活動の実施地域の範囲を記入してください。</p> <p>他の 3R 活動主体や他地域との連携・協力について具体的に記入してください。</p> <p>地域の特性や廃棄物問題を踏まえた 3R 活動である場合には、その内容を具体的に記入してください。</p>
⑧ 独自性・先鞭性
<p>他の取組に比較して優れているところ、進んでいるところ、独自なところを記入してください。</p>

⑨ 啓発普及・教育活動の実施、波及効果

3Rに関する啓発・教育活動の実施内容と成果を具体的に記入してください。

他の事業所等の3R活動に与えた波及効果を具体的に記入してください。

⑩ その他活動の工夫点

上記以外に特に工夫・努力している点、アピールしたい点等を記入してください。

⑪他の企業等の協力

他の企業等（納入業者・下請け企業・廃棄物処理業者・リサイクル業者等）の協力を得て3R活動を行っている場合、以下を記入してください。

(a) 協力を得ている内容を記入してください。

協力企業の業種	協力を得ている事項
(記入例) 建材メーカー	(記入例) 当工場で発生する廃棄パレットを原料にパーティクルボードを生産している。
(記入例) 資材納入業者	(記入例) 資材の空き容器を引き取ってもらっている。

(b) 協力企業における自社発生物のリサイクル状況の把握及び協力企業に対する支援等を行っている場合は、その内容を記入してください。

(記入例) ・年1回、委託先の現地調査を行い、引き渡した廃棄物が確実に再生利用されたことを確認 ・廃液のリサイクルを委託するにあたって、共同で再生技術の研究開発を行った。

3. 過去の受賞歴及び他の表彰制度への応募状況

今回推薦される内容が、下記(A)～(D)に該当する場合、以下の表にご記入ください。

- (A) 過去に、本表彰制度で今回推薦される内容と関連した活動で受賞
- (B) 過去に、本表彰制度で今回推薦される内容とは違うテーマの活動で受賞
- (C) 過去5年間に、他の表彰制度で今回推薦される内容と関連した活動で受賞
- (D) 本年度、他の表彰制度で今回推薦される内容と関連した活動で推薦されている又は応募中（予定も含む）

受賞歴及び 応募状況 (上記(A) ～(D)を 記入)	表彰制度名 (上記(C)、(D)の場合、 記入)	受賞年度 (上記(A)～ (C)の場合、 記入)	受賞した賞の種類 (上記(A)～(C)の場合、 記入)	受賞時の会社名・事業所名 が現在と異なる場合、 当時の名称 (上記(A)～(C)で該当する 場合、記入)

上記で (A)、(C)に○を付けた方は、前回受賞時から進展したポイント（例：活動内容の広がり、活動レベルの向上、3R実績量の増加、活動地域の拡大等）について、下記の例を参考に具体的にご記入ください。

記入例は削除して、ご記入ください。

	過去（ 年度）受賞時の活動内容	今回推薦を受ける活動内容
3R 活動の内容 (拡大発展した ポイントが分か るように対比)	(記入例) 工場が発生する各種廃棄物・副産物を極力工場内でリサイクルするとともに、自社内で利用できないものは、リサイクル業者の協力により各種リサイクル製品の原料として有効利用を図った。これにより、最終処分量を5年前の1/5 (発生量の20%) に削減した。	(記入例) 左記の取組に加え、工場内の各工程において製法・工法の改良、歩留り改善、容器・梱包等のリターナブル化等の手段によって、廃棄物・副産物の発生そのものを大幅に削減した。 これにより、最終処分量ゼロを達成した。
3R 対象品目 及び実施方法 について	(記入例) ・塗料かす：樹脂成型品の増量材として再資源化 ・洗浄用有機溶剤：蒸留して低品位溶剤に再生 ・プラスチック端材：熔融ペレット化して売却 ・段ボール箱：古紙回収業者に引き渡しリサイクル ・廃木製パレット：破碎・チップ化して建材ボード原料としてリサイクル	(記入例) ・塗料かす：静電塗装の採用で発生量を90%削減 ・洗浄用有機溶剤：純水洗浄に切替え全廃 ・プラスチック端材：工程内で100%循環利用 ・段ボール箱：通い箱に切替え発生量を95%削減 ・廃木製パレット：長寿命型のプラ製パレットの採用で発生量を60%削減。破損パレットは補修して再使用
活動の実施地域 について	(記入例) 当社〇〇工場、××工場の2事業所で実施	(記入例) 左記に加え、当社□□工場、△△工場及びグループ企業の2工場に技術移転を行い、現在全国6事業所で実施している。
活動の質的な 向上について		(記入例) 前回受賞時の取組内容はリサイクルに限定されていたが、現在は各工程で3R全般にわたる取組を組み合わせ、高い効果をあげることができた。
上記以外の進展 事項、アピール したいポイント	(記入例) 製法・工法の改良による副産物の発生削減技術は特許を取得した。この特許技術は同業他社や他業種の工場にも採用され、各種産業におけるリデュースの推進に寄与している。	

<参考1>

表彰の募集対象となるリデュース・リユース・リサイクル（3R）の取組の例

<対象となる取組>

- 自らが3Rを実践する活動であり他の模範となる取組
- 3Rを推進するための他者・地域との連携、他者への3Rの啓発・教育活動など他の模範となる取組
- 3Rを推進するための仕組みづくり、3Rを促進する製品の開発・普及などの活動

※ リデュース、リユース、リサイクルのいずれか1つの取組も対象です。

また、これらの2つの組み合わせ、3つ全ての取組も対象です。

※ なお、他に比較して優れたところ、進んだところ、独自なところがあれば既に比較的普及している3Rの取組であっても対象となります。

具体的な取組事例は次のとおりです。

1. リデュース（Reduce＝発生抑制）

製品をつくる時に使う資源の量を少なくすることや廃棄物の発生を少なくすること。

耐久性の高い製品の提供や製品寿命延長のためのメンテナンス体制の工夫なども含まれます。

（取組の例）

<個人・グループ・学校>

- マイバックを持って無駄な包装は断る。
- 詰め替え容器に入った製品や簡易包装の製品を選ぶ。
- 耐久消費材は手入れや修理をしながら長く大切に使う。
- 利用頻度の少ないものは、レンタルやシェアリングシステムを利用する。
- 耐久性の高い製品や省資源化設計の製品を選ぶ。

<事業所・地方公共団体等>

- 製品を設計する時に、製品ができるだけ長く使えるように工夫をする（耐久性、修理性等）。
- 製品を設計する時に、製品ができるだけ少ない材料、部品等で構成されるように工夫する（省資源化）。
- 製品をつくる時に、原材料を無駄なく効率的に使うように工夫する。
- 修理や点検等のアフターサービスを充実することにより、製品の長期使用促進に努める。
- 簡易梱包、簡易包装、詰め替え容器、通い箱等の利用、普及に努める。
- 機械器具等の手入れ方法や修理方法を工夫して長期使用に努める。
- 利用頻度の少ないものをシェアする仕組み、不用品を有効に活用する仕組みをつくる。
- 耐久性の高い製品や省資源化設計の製品を選ぶ。

2. リユース (Reuse=再使用)

使用済製品やその部品等を繰り返し使用すること。

その実現を可能とする製品の提供、修理・診断技術の開発、リマニュファクチャリングなども含まれます。

(取組の例)

<個人・グループ・学校>

- リターナブル容器に入った製品を選び、使い終わった時にはリユース回収に出す。
- フリーマーケットやガレージセール等を開催し、不用品の再使用に努める。

<事業所・地方公共団体等>

- 製品を設計する時に、本体や部品のリユースがしやすいように工夫をする。
- 使用済製品を回収して本体や部品を再生し、再び新品同様の製品を作り出す。
- 使用済製品、部品、容器を回収し、再使用する。

3. リサイクル (Recycle=再資源化)

廃棄物等を原材料やエネルギー源として有効利用すること。

その実現を可能とする製品設計、使用済製品の回収、リサイクル技術・装置の開発なども含まれます。

(取組の例)

<個人・グループ・学校>

- 資源ごみの分別回収に協力する。
- 資源ごみの効率的な分別回収を広める。
- リサイクル製品を積極的に利用する。

<事業所・地方公共団体等>

- 製品を設計する時に、使用後のリサイクルがしやすいように工夫をする。
- 製品をつくる時に、できるだけリサイクル原材料を使う。
- 使用済みとなった自社製品の回収・リサイクルに努める。
- 発生した副産物・使用済製品を効率的にリサイクルする (仕組みづくりを含む)。

注釈

町の美化、公衆衛生の向上、公害防止 (大気、水質等)、地球温暖化防止などは、資源の有効利用を目的とした3R活動の付随的な効果としては評価の対象ですが、これらが主たる取組の場合は本表彰の対象外です。



限りある地球の資源を大切に！

◆リデュース・リユース・リサイクル推進協議会は

消費者・教育機関・産業界・行政など多くの主体が連携しつつ日本全国で3R（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再資源化）を推し進めてゆくことを目的とし、国民的運動を展開することを使命としています。本協議会は、リサイクル推進協議会として発足いたしましたが、3R推進の重要性を認識し、より一層循環型社会形成に資するために現在の協議会に進化させました。

日本は循環型社会構築という面では世界を一步リードするところまで来ていますが、それでも十分とは言えず、まだまだやるべきことが多く残されています。今後日本で更に優れた資源循環を推し進めてゆくために、本協議会は、3Rの普及・啓発などの活動を積極的に行ってまいります。

協議会のホームページ：<https://www.3r-suishinkyogikai.jp/>